

平成30年度 自殺未遂者支援研修開催要領

1 目的

自殺未遂者が再び自殺を企図する可能性は自殺未遂者以外の者に比べて高く、身体処置後の精神的ケアや自殺の背景となった問題への対応が大切となる。

そこで、自殺未遂者へ適切な支援が行われるよう、支援の必要性や適切な対応方法についての研修を実施することとする。

2 主催

山口県精神保健福祉センター

3 対象

医師、看護師、コメディカル職員、行政機関職員、相談支援事業所相談員、地域包括支援センター職員等

4 定員

60名程度

5 日時

平成31年1月14日（祝・月） 13時30～16時30分

※詳細は、裏面「平成30年度 自殺未遂者支援研修プログラム」を参照

6 場所

山口県防府総合庁舎 別棟会議室（防府市駅南13-40）

※駐車台数に限りがありますので、乗り合わせで来て頂きますようお願いいたします。

7 申込方法等

(1) 申込方法 別紙申込書によりFAXで申し込む。（送付票不要）

(2) 申込期限 平成31年1月4日（金）

(3) 申込先 〒747-0801 防府市駅南町13-40 防府総合庁舎2階

山口県精神保健福祉センター

TEL：0835-27-3480

FAX：0835-27-4457

平成30年度 自殺未遂者支援研修プログラム

自殺者数は、ここ数年減少傾向にはありますが、山口県では、毎年200人以上の人が自ら命を絶っています。自殺未遂者は少なくとも既遂者の約10倍以上は存在すると言われていています。

複合的な問題を抱える自殺未遂者の再企図を防ぐためには、医療受診の継続と併せて、さまざまな関係機関の支援につなげることが重要です。再企図を防ぐために包括的な支援を行えるよう、自殺未遂者支援に関する正しい知識と具体的な対応方法について学び、充実した支援を目指すことを目的として研修を開催します。

【日 時】

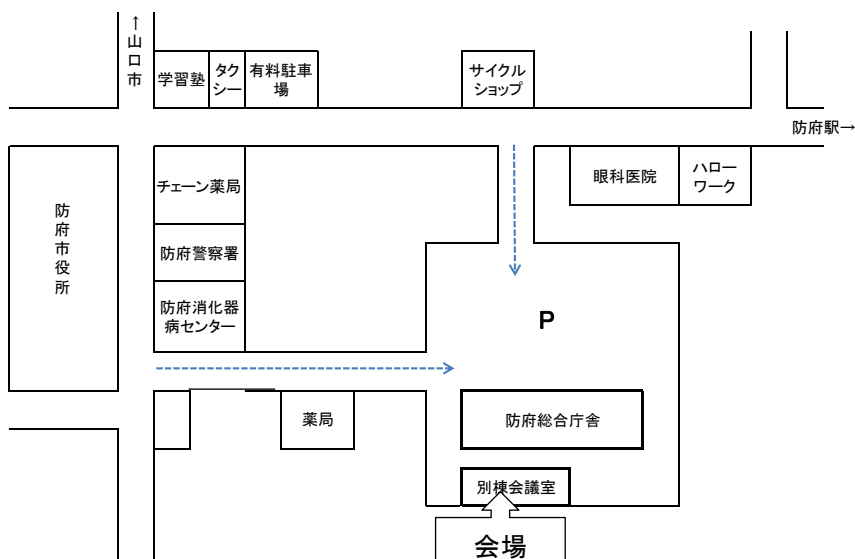
平成31年(2019年)1月14日(祝・月)13時30分～16時30分

【対 象】

医師、看護師、コメディカル職員、行政機関職員、相談支援事業所相談員、地域包括支援センター職員等

【場 所】

山口県防府総合庁舎
(山口県防府市駅南町13-40)
別棟会議室



【プログラム】

13:00～ 受付

13:30～16:30 講義「自殺未遂者の理解と対応」
演習「事例から学ぶ自殺未遂者支援～地域で支えるために～」
講師 福岡大学 医学部 精神医学教室 講師 衛藤 暢明 氏

《講師プロフィール》

平成15年熊本大学医学部卒業。同年、福岡大学病院(精神科)にて臨床研修。平成18年より救命救急センターに搬送される自殺企図者に関する調査・研究に従事。平成20年より厚生労働省「自殺対策のための戦略研究(ACTION-J)」に参加。専門領域はコンサルテーション・リエゾン精神医学、自殺予防、精神分析的な精神療法。

＜研修担当者より＞

自殺未遂者は、自殺のハイリスクケースと言われており、再企図や既遂を防ぐためにも適切な援助を行うことが必要です。自殺未遂者は、救急告示医療機関に来院することが多いことから、医療機関や関係機関につなげて継続的な支援をしていく方策が必要とされています。県内では、こうした支援を考えるための取り組みが行われている地域もあります。本研修が地域でのよりよい支援を考える場になればと思います。

